

PAS心理教育研究所 卒後研修センター 2026年度 プログラム



〒153-0041

東京都目黒区駒場2-8-9

Tel & FAX 03-6407-8201

E-mail: pas@pas-ins.com

ホームページ : <https://www.pas-ins.com/>

PAS 心理教育研究所 プログラム概要

PAS 卒後研修センターでは、以下の訓練プログラムを提供しております。当センターでは毎月のべ400 名に及ぶ専門家が自身の関心に応じて訓練を受けています。訓練期間や頻度、難易度など、多様な選択肢の中からご自分にあったプログラムをお選びいただけます。

1. プロフェッショナル・スクール (P. 5-6)

- (1) 心理療法課程 本科コース（毎週9時間～/ 3年～）
- (2) 心理療法課程 臨床科コース・専攻科コース（毎週7時間～/ 2年～）
- (3) Post-Doctoral 研修・研究コース（半年～）

※ 各コース内で条件を満たす科目については、臨床心理士資格認定協会研修ポイント申請を行います。

2. 心理相談講座 (p.7-11)

心理相談の理論と実践力を基礎から身につけていくための講座です。

1年次・2年次：ベーシック・トレーニング

3年次以降：カウンセリングコース／心理療法コースを選択できます。

3. 単発プログラム (P.12-31)

プロフェッショナル・スクールに所属することなくご参加いただける講座です。月1回、週1回などルーティンで開催されるものや、年1回のワークショップなど、ご自身のご都合とニーズに沿ってお選びいただけます。いくつかの科目を組み合わせ受講いただくことも可能です。

※ 条件を満たす科目については、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請を行います。

- (1) プロフェッショナル・スクール セミ・オープン
- (2) 基礎科目
- (3) 専門科目

4. スーパーヴィジョン (P. 31-32)

個人・集団でのスーパーヴィジョンが受けられます。

5. 教育分析 (P. 32-33)

心理療法家・カウンセラー、および対人援助職としての成熟性を目指す、個人心理療法・集団精神療法です。

プログラム受講に関するコンサルテーション

ご自身に最適なプログラム・ワークショップを組み合わせでご受講いただくことで、より体系的な学習・訓練を積むことが可能です。当センターでは、学びたいことや困っていることに応じて、最適な受講プランを練るためのコンサルテーションを提供しています（15 分・無料）。複数受講に限らず、1クラスの受講からでもお気軽にご相談ください。また、分割払いなど、お支払いに関するご相談もお受けいたします。

各コース・講座のお申込み

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、PAS 心理教育研究所までFAX・郵送・受付での手渡し、メール、いずれかの方法によってご提出ください。お申込み頂きました後、受理通知をお送りいたします。申込書は、ホームページからもダウンロードできます。なお、お申込み後1週間以内に返信がない場合、お手数ですが研究所までお電話ください。

送り先：PAS心理教育研究所

〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9

TEL & FAX 03-6407-8201

ホームページ: <https://www.pas-ins.com> メール: pas@pas-ins.com

1. プロフェッショナル・スクール

3年から5年の継続的な訓練を通して、PAS心理療法・精神分析的な心理療法・集団精神療法の理論・技法を学び、確実に実践できる技術・態度を習得するための訓練プログラムです。当スクールの特徴は、講義に加えて少人数クラスでの徹底した演習によって、厳しくも充実した訓練を受けることができる点にあります。バラバラなつぎはぎの学習ではなく、一貫した理論背景に基づく体系的訓練を希望している方に適しています。

【心理療法課程の訓練の特色】

・カリキュラム（本科課程）

- | | | |
|------------------|-------|------------------------|
| 1) 理論： | 9 単位 | |
| 2) 演習ゼミ： | 9 単位 | |
| 3) 実習・スーパーヴィジョン： | 18 単位 | |
| 4) 集中演習： | 3 単位 | |
| 5) 必修基礎講座： | 6 単位 | |
| 6) 選択講座： | 3 単位 | <u>合計 48 単位コース修了認定</u> |
| 7) 修了論文 | 3 単位 | <u>合計 51 単位課程修了認定</u> |

・臨床スタッフ・訓練生が経験年数を問わず一堂に会し、理論を学ぶと同時に、インテークから心理療法の展開までの面接技法の演習、スーパーヴィジョンを受けながらの臨床実習を行っています。熟練したセラピストたちと共に働き訓練することを通して、ファカルティ・レベルのセラピストの技術・態度を肌で体感しながら学ぶことができます。

・修了要件には、修了論文として事例報告、あるいは事例研究の提出が求められます。倫理規定に則り研究活動を行い、自身の関心に基づいたプログラムを企画・運営、あるいは技術・技法開発を進めることができます。

（1）心理療法課程 本科コース（3年課程）

3年間で、精神分析的個人心理療法の技法・事例研究法・精神分析的集団精神療法の基礎技法の習得を目指すコースです。米国の Psy.D. トレーニング・プログラムに準ずるレベルの訓練を提供します。

○ 訓練時間

毎週月曜 19:00～21:00 理論講義

毎週金曜 14:00～21:00 技法演習(14:00-16:00)・臨床実践・スーパーヴィジョン(16:00-)

※その他、別途定められた日程の集中研修プログラムへの参加、PAS 心理教育研究所の開所時間内の臨床実践（インテークや個人心理療法の担当、各種プログラムのセラピスト）、単発プログラムへの参加等を含みます。

○ 授業料：年間 792,000 円（税込・分割払い可能）

○ 修了後の進路：本科課程修了者には修了書が発行され、臨床科もしくは専攻科コースへの進学が認められます。また、進学せず、研修生として PAS 心理教育研究所にて引き続き臨床実践や研究に携わることもできます（研修費 年間 396,000 円、金曜 14 時からの在室が必須）。

(2) 心理療法課程 臨床科・専攻科コース（2年課程）

本科課程修了者がさらなる臨床訓練を積むコースです。臨床科コースは、PAS心理療法の技法・技術のさらなる練磨を目指し、専攻科コースは個人療法のみならず、精神分析的集団精神療法の技法練磨および、当研究所のファカルティを目指すコースとなります。

2027年度 心理療法課程本科コース入学者選考日程

(1) 書類選考：応募締切：2026/10/30（金）

(2) 選考試験

①筆記試験 2026/11/14（土）

②グループ体験（アイデンティティ・グループ参加） 2026年11月～12月の土日（日程未定）

(3) 面接試験（口頭試問）

⇒より詳しい訓練内容や選考手順に関しては、募集要項がございますので、お気軽に当センターまでお問い合わせください。

(3) Post-Doctoral 研修・研究コース（半年～）

心理療法関連領域の学位（博士）を有し、その領域において実践・研究の実績を積んだ者が、PAS心理療法の技法習得、あるいは特定の研究を遂行するためのコースです。本科および卒後研修センターで開講される科目を選択履修し、指導ファカルティによるスーパーヴィジョンのもと年間研修計画もしくは研究目標を定め、研修・研究を進めます。

○ 研修費：年間 792,000 円（税込） 半期 396,000 円（税込）

○ 期間：研修・研究目標の達成まで。1 年ごとに在籍更新とする。遠方や海外居住などの事情により、半年単位の在籍も認める。

○ 応募資格：

1. 心理療法関連領域の学位（文学博士、心理学博士、医学博士、教育学博士、Ph.D.、Psy.D. など）を有すること。
2. 心理療法関連の臨床実務経験を5年以上有すること。
3. 学術業績として、レフェリー付きオリジナル論文を5点以上有すること。テキスト以外の専門単著は、レフェリー付きオリジナル論文3点とみなす。

2. 心理相談講座（1年～）

心理相談の理論と実践力を基礎から身につけていくための講座です。月1回のゼミを拠点とし、カウンセリング・ガイダンス・心理療法の理論・態度・技術を学び、継続的に練磨していきます。同じ専門性に立った仕事仲間を得ることができます。

<心理相談講座フローチャート>

1年次・2年次

心理相談講座 ベーシック・トレーニング：全ての心理相談の基礎を養おう

主な対象：①大学院修了後・資格習得後、初めてトレーニングを受ける人、②基礎を固めたい人

内容：全ての心理相談に必要な1) カウンセリング・ガイダンス・心理療法の基本理論、2) 心理学的心性・ジェヌインネスといった基本的態度、3) 心理面接基礎技法、4) アセスメントとケースフォーミュレーションの基礎技術を学ぶ。

この基礎を元に、来談者中心カウンセリング、精神分析的な心理療法、認知行動療法など、自分の興味関心に基づいて、学びたい専門手法の学びを展開しましょう。



3年次以降、PASでの継続トレーニングを希望する方のための2つのコース

心理相談講座 カウンセリングコース

主な対象：以下の領域でカウンセラーとして働く人。①小中高大、各種教育機関等、教育領域、②産業領域、③福祉領域。

内容：来談者中心カウンセリング、ガイダンス、および関連技法に関する1) 理論学習、2) 基本的態度、3) カウンセリング面接技法、4) アセスメントとケースフォーミュレーションに関する実践力を継続的に磨く。

心理相談講座 心理療法コース

主な対象：精神科病院・精神科クリニックにおいて、医師の指導の下、精神科治療の中で心理療法を行う人。

内容：1) 精神分析的な心理療法、および精神分析的人格理解に関する理論、2) 人格機能アセスメントとケースフォーミュレーションの実践、3) 心理療法面接技法・技術の習得、4) 事例報告の作成に関する実践力を継続的に磨く。

1 年次・2 年次：ベーシックトレーニング

<目標>

1 年次：

- ① ガイダンス・カウンセリングの基本理論を学び、その目的、行う心理作業、期待される効果を理解し、説明できるようになること。
- ② 心理面接を行う上で必要な基本的態度としての心理学的心性を身につけること。
- ③ 自分自身、および相手の心理プロセスを PEA 紐過程の観点から観察できるようになること。
- ④ 心理面接の場と空間を作り、クライアントを迎え入れる基礎技法を習得すること。

2 年次：

- ① 心理療法の基本理論を学び、心理療法の目的、行う心理作業、期待される効果を理解し、説明できるようになること。
- ② 心理面接を行う上で必要な基本的態度としてのジェヌイネスを磨くこと。
- ③ 基本的アセスメントの枠組みを理解し、ケースフォーミュレーション汎用フォーマット 2W1H の What を書くことができるようになること。
- ④ 心理面接基礎技法である応答構成法と DER 技法の練習ができるようになること。

<基本情報>

コース責任者：花井 俊紀（研究所ファカルティ・サイコセラピスト／臨床心理士）

受講料：264,000 円（税込）

定員：20 名（カウンセリングコースと合わせて）

受講資格：臨床心理士・公認心理師、医師、看護師、教師、保育士、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士、ケアマネージャーなどの資格を有する専門家、もしくはそれらの受験資格保持者。

<1 年次・2 年次 履修科目>

科目名	講師	開講曜日・時間	1 年次	2 年次
カウンセリングゼミ	花井 俊紀	第 1 月曜 19:00-21:00	必修	必修
ガイダンスとカウンセリングの基礎	花井 俊紀	第 3 月曜 19:00-21:00	必修	
心理療法の基礎	中村 有希	第 1 水曜 19:00-20:45		必修
アセスメント・ケースフォーミュレーションの基礎	花井 俊紀	第 2 月曜 19:00-21:00	必修	必修
心理臨床の基礎訓練：応答構成法	橋本 麻耶	第 2 木曜 18:45-20:30	必修	必修
心理職・対人援助職アイデンティティ・グループ	髭 香代子	年 1 回(11-12 月)土日	選択	選択
「こころ」の発達セミナー	中村 有希	第 3 土曜 11:00-12:30	別途有料	
自尊心セラピー (S.E.T)	中村 有希	第 3 土曜 13:00-15:00	別途有料	
たこ天：自分を鍛える夏のプログラム（合宿プログラム）	PAS スタッフ	2026 年 8 月 8-10 日	別途有料	

心理相談講座 カウンセリングコース（3 年次～）

<目標>教育・福祉・産業の領域で適応の改善を助けるカウンセリングを実施できるようになる。

- ① ガイダンス・カウンセリングの技法アルゴリズムを理解し、説明できるようになること。
- ② 臨床的態度としてのジェヌインネスの追求。
- ③ カウンセリング面接技法として、グランドメイトリックス、応答構成法、DER 技法の習得。
- ④ ケースフォーミュレーション 2W1H 汎用フォーマットを書き、それに基づいた面接展開を図ることの習得。

<基本情報>

コース責任者：花井 俊紀（研究所ファカルティ・サイコセラピスト／臨床心理士）

受講料：330,000 円（税込）

定員：20 名（1 年次・2 年次と合わせて）

受講資格：心理相談講座 2 年次の必修単位を全て取得していること。

<カウンセリングコース 履修科目>必修 3 科目、選択から 3 科目まで受講可能

科目名	講師	開講曜日・時間	必修・選択
カウンセリングゼミ	花井 俊紀	第 1 月曜 19:00-21:00	必修
アセスメント・ケースフォーミュレーションの基礎	花井 俊紀	第 2 月曜 19:00-21:00	必修
心理臨床の基礎訓練：応答構成法	橋本 麻耶	第 2 木曜 18:45-20:30	必修
ガイダンスとカウンセリングの基礎	花井 俊紀	第 3 月曜 19:00-21:00	選択
心理療法の基礎	中村 有希	第 1 水曜 19:00-20:45	選択
心理職・対人援助職アイデンティティ・グループ	髭 香代子	年 1 回(11-12 月)土日	選択
ロールプレイ	中村 有希	第 2 木曜 19:00-20:45	選択
PAS 不安力動原論	中村 有希	第 3 水曜 19:00-20:45	別途有料
「こころ」の発達セミナー	中村 有希	第 3 土曜 11:00-12:30	別途有料
自尊心セラピー (S.E.T)	中村 有希	第 3 土曜 13:00-15:00	別途有料
たこ天：自分を鍛える夏のプログラム (合宿プログラム)	PAS スタッフ	2026 年 8 月 8-10 日	別途有料

心理相談講座：心理療法コース（3 年次～）

<目標>病院、クリニック等で精神科の医師と協力して治療を進める臨床能力を養う。

- ① 心理療法を实践する上で基礎となる心の働き（力動論）を理解する。
心がどんなふうに動いているのか、心の働きがわかることを目指す。
- ② 精神科診断の妥当性を確認しながら、心理力動的なアセスメントに基づいた治療計画を立てる力を身につける（※テキスト『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』（小谷 2022）p.67 の RCP フォーマット参照）。精神の病を治療するとはどういうことなのかを学ぶ。心の働きを伝えることが、精神科医の仕事にも役立つ。
- ③ 心理療法の基礎技法として、クライアントの自己内フィードバックを促進する「DER 技法」とセラピー面接の展開と同時並行して分析と診断を進める「セラグノーシス」の実践練磨。患者／クライアントに、その場で見立ての過程を伝えられる臨床能力を身につける。そのことによって、クライアント自身も、自分の心の働きがわかるようになり、病気と上手に付き合うことができるようになる。

<基本情報>

コース責任者：中村 有希（研究所ファカルティ・サイコセラピスト／臨床心理士）

受講料：330,000 円（税込）

定員：10 名

受講資格：①心理相談講座 2 年次の必修単位を全て取得していること。②心理療法の継続自験例を仕事として実施していること。

<心理療法コース 履修科目>必修 4 科目、選択から 2 科目まで受講可能

科目名	講師	開講曜日・時間	必修・選択
心理療法ゼミ	中村 有希	第 1 月曜 19:00-20:45	必修
事例演習	花井 俊紀	第 4 月曜 19:00-21:00	必修
PAS 不安力動原論	中村 有希	第 3 水曜 19:00-20:45	必修
ロールプレイ	中村 有希	第 2 木曜 19:00-20:45	必修
心理療法の基礎	中村 有希	第 1 水曜 19:00-20:45	選択
心理臨床の基礎訓練：応答構成法	橋本 麻耶	第 2 木曜 18:45-20:30	選択※
心理職・対人援助職アイデンティティ・グループ	髭 香代子	年 1 回(11-12 月)土日	選択
量子力学的面接法	小谷 英文	第 4 木曜 18:45-20:30	選択
「こころ」の発達セミナー	中村 有希	第 3 土曜 11:00-12:30	選択
心理療法家のための応答構成	能 幸夫 他	年 6 回日曜日	選択
自尊心セラピー (S.E.T)	中村 有希	第 3 土曜 13:00-15:00	別途有料
PAS 面接技法集中講座	小谷 英文	年 4 回日曜日	別途有料
たこ天：自分を鍛える夏のプログラム（合宿プログラム）	PAS スタッフ	2026 年 8 月 8-10 日	別途有料

<付記>

- ※ 必修科目は原則全て受講してください。
- ※ 各受講クラスのシラバスをよく読み、テキストは各自読み進めてください。
- ※ クラスは PAS 心理教育研究所において対面で開催されます。3 年次以降、オンライン開催のクラスについては、オンライン参加が可能です。
- ※ 各クラス 3 回以上の遅刻・欠席がある場合は、科目修了が認められません。
- ※ 各コース履修科目に記載されている以外の PAS で開催されているクラスの受講を希望する場合は、コース責任者とガイダンス面接で検討の上申し込んでください。
- ※ 年度開始時に、コース責任者とガイダンス面接を行い、トレーニングプランおよび履修計画と一緒に立てます。年度終了時に、1 年間で何ができるようになって、何は課題として残っているか、成果の確認を行います。

<申込みの流れ>

0. (1 年次にお申込みの方のみ) 申込み前に、オリエンテーション(随時開催)に参加する。
1. 受講計画を立て、申込用紙を作成し、提出する。
2. コース責任者による書類審査 → 提出後 1 週間以内に結果通知
3. コース責任者との受理面接(ガイダンス面接): 15~30 分程度
4. 最終の年間受講計画の決定

<申込締切>

- ・前年度からの継続受講生の優先申込: 2026 年 2 月 24 日(火)まで
- ・申込締切: 2026 年 3 月 14 日(土)まで(先着順)

3. 単発プログラム

※オンライン開講あり（○…対面+オンライン、●…オンラインのみ）

※状況に応じて、対面のみ及びオンラインのみに変更になる場合がございます。

※相談講座各コースの必修および選択は年次で決まっています。各パンフレットをご参照ください。

プロフェッショナル・スクール セミ・オープン				
NO.	講座名	講師	回数	開催曜日・時間
260-1	PAS心理療法技法基礎Ⅰ：基礎概念と基本技術	能 幸夫	全8回	月(5月-8月) 19:00-21:00
260-2-1	PAS心理療法技法基礎Ⅱ-1：技法構成と介入分析	能 幸夫	全4回	月(9月-11月) 19:00-21:00
260-2-2	PAS心理療法技法基礎Ⅱ-2：集団精神療法技法基礎	能 幸夫	全4回	月(11月-2月) 19:00-21:00
260-3	精神分析的精神病理学の基礎	能 幸夫	全8回	月(2月-4月) 19:00-21:00
260-4	力動的アセスメント	能 幸夫	全10回	第1月 19:00-21:00
260-5	フロイト文献講読講座	能 幸夫	全8回	第3月 19:00-21:00

特別科目：心理相談講座の必修科目					
NO.	講座名	講師	回数	開催日	
260-6	事例演習	花井俊紀	全10回	第4月	19:00-21:00
260-7	カウンセリングゼミ	花井俊紀	全10回	第1月	19:00-21:00
260-8	心理療法ゼミ	中村有希	全10回	第1月	19:00-20:45

基礎科目					
NO.	講座名	講師	回数	開催日	
261-1	PAS不安力動原論	中村有希	全10回	第3水	19:00-20:45
261-2○	ガイダンスとカウンセリングの基礎	花井俊紀	全10回	第3月	19:00-21:00
261-3○	心理療法の基礎	中村有希	全10回	第1水	19:00-20:45
261-4	アセスメントとケースフォーミュレーションの基礎	花井俊紀	全10回	第2月	19:00-21:00
261-5	心理臨床の基礎訓練：応答構成法	橋本麻耶	全10回	第2木	18:45-20:30
261-6●	オンラインPAS道場	小谷英文	全10回	第1月	18:45-20:30
261-7●	オンライン心の相談	小谷英文	全10回	第2月	18:45-20:30
261-8●	オンライン教育・産業臨床スーパーヴィジョンゼミ	小谷英文	全10回	第3月	18:45-20:30
261-9●	オンライン病院臨床スーパーヴィジョンゼミ	小谷英文	全10回	第4月	18:45-20:30
261-10	精神科診断別の心理面接とセルフケアの基礎Ⅱ	能幸夫	全4回	日	9:30-16:30
261-11	心理職・対人援助職アイデンティティ・グループ	髭 香代子	年1回	11月～12月の土・日	
261-12	素人のための精神分析療法	小谷英文	全10回	第4水	18:45-20:30
261-13	素人のための精神分析療法集中講座	小谷英文	年1回	7/25(土)・26(日)	

専門科目					
NO.	講座名	講師	回数	開催日	
262-1	ロールプレイ：面接展開の基本技術	中村有希	全10回	第2木	19:00-20:45
262-2	量子力学的面接法	小谷英文	全10回	第4木	18:45-20:30
262-3	心理療法家のための応答構成法	能幸夫・橋本麻耶	全6回	日	9:30-17:15
262-4	不安面接法集中講座	小谷英文	年1回	3/6(土)・7(日)	
262-5	PAS面接技法集中講座	小谷英文	全4回	日	10:00-16:30

特別科目：プロフェッショナル・スクール セミ・オープン

科目名： 260-1 PAS 心理療法技法基礎Ⅰ：基礎概念と基本技術

講師：能 幸夫

目標：クライアントの主体性と自律性に基づいて、最大限の自由な空間における自己検討の時間と空間を保障する PAS 心理療法の技法基礎として、その基礎概念と基本技術を理論的に学ぶ。これらの基礎概念と基本技術は PAS 心理療法技法基礎Ⅱの理解のための基盤となる。

内容：テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. PAS 心理療法における技法主体論について学ぶ
2. PAS 心理療法の基礎概念について、その構成要素と治療原理の観点から学んでいく
3. PAS 心理療法の治療原理としての人格変化の原理についての基礎をつかむ
4. PAS 心理療法の基本技術として、さまざまな介入の機能的な原理を学ぶ
5. PAS 心理療法における技法訓練の根幹としての臨床的態度について学ぶ
6. PAS 心理療法の基礎技法の技法構成として、インテーク面接から作業同盟を経ての治療同盟成立までの基本を学ぶ

テキスト：

小谷英文 (2018). 『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (近刊). 『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

サブテキストとして能幸夫編『PAS 心理療法技法基礎』を配布する。

受講資格：本科以上のプロフェッショナル・スクール在籍生。その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等の臨床歴 3 年以上の公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者。

日程：月曜日 19:00～21:00 全 8 回

5/11, 5/25, 6/8, 6/22, 6/29, 7/13, 7/27, 8/31

料金：74,400 円 (税込)

定員：本科生を除き 4 名

科目名： 260-2-1 PAS 心理療法技法基礎Ⅱ-1：技法構成と介入分析

講師：能 幸夫

目標：PAS 心理療法の技法基礎としての基礎概念と基本技術を基盤に、精神分析的システムズ心理療法の力学原理を理解し、PAS 心理療法基礎技法としてのグランドメイトリックス、共感、再構成のそれぞれの技法とそれを支える基本技術についての理論を学ぶ。

内容：テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。特に基本テキスト『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』の第 7 章を事前に読み込んでおくこと。

1. 精神分析的システムズ心理療法の力学原理と ASE、AISA
2. 基礎技法の 1：グランドメイトリックスとその基本技術

3. 基礎技法の2：共感とその基本技術
4. 基礎技法の3：再構成とその基本技術

テキスト：

小谷英文 (2018). 『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2022). 『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (近刊). 『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

受講資格：本科以上のプロフェッショナル・スクール在籍生。その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等の臨床歴3年以上の公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者。

日程：月曜日 19：00～21：00 全4回

9/14, 9/28, 10/26, 11/9

料金：37,200 円 (税込)

定員：本科生を除き4名

科目名：260-2-2 PAS 心理療法技法基礎Ⅱ-2：集団精神療法技法基礎

講師：能 幸夫

目標：PAS 理論に基づいた精神分析的集団精神療法の技法基礎に関して、プロセスグループの手法を用いて、体験的にその理論と技法の基礎についての理解を深める。

内容：前半にグループ体験をし、そこで現れたプロセスと諸現象を検討し、分析する。分析に際しては、事前にテキストおよび諸論文を読んでおき、積極的にディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. グループ設計とその基本視点について理解する
2. 集団精神療法装置の機能とその生成のプロセスを理解する
3. 集団抵抗と個人抵抗の絡み合いとその紐解きの基本技術を学ぶ
4. 集団精神療法のセラピスト機能とリーダーシップ機能について理解する

テキスト：

小谷英文 (1990). 第9章 集団精神療法. 小此木圭吾・成瀬悟策・福島章 (編), 臨床心理学体系第7巻 心理療法1 (pp.239-269). 金子書房.

小谷英文 (2014). 『集団精神療法の進歩ー引きこもりからトップリーダーまで』 金剛出版.

参考図書：

小谷英文 (1999). 精神分析的集団精神療法. 近藤喬一・鈴木純一 (編), 集団精神療法ハンドブック (pp.121-130). 金剛出版.

小谷英文 (編) (2009). 『グループセラピーの現在ー精神疾患集団療法から組織開発タスクフォースまで』 (現代のエスプリ No.504) ぎょうせい.

能幸夫 (2023). 精神分析的集団精神療法の理論と技法ー日常臨床に活かす視点でー. 北西憲二・西村馨・精神療法編集部(編), グループで日常臨床を変えるーさまざまな場面での活用術 (精神療法 増刊第10号) (pp.55-61). 金剛出版.

能幸夫 (2023). 神経症の集団精神療法. 北西憲二・西村馨・精神療法編集部(編), グループで日

常臨床を変える一さまざまな場面での活用術（精神療法 増刊第 10 号）(pp.183-190). 金剛出版.

受講資格：本科以上のプロフェッショナル・スクール在籍生。その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等の臨床歴 3 年以上の公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者。

日程：月曜日 19：00～21：00 全 4 回

11/30, 12/14, 2027/1/25, 2/8

料金：37,200 円（税込）

定員：本科生を除き 4 名

科目名：260-3 精神分析的精神病理学の基礎

講師：能 幸夫

目標：フロイトの神経症の力動理解に端を発した精神分析的精神病理学についての基礎を学び、現代の精神医学の弱点となりつつある力動的視点の弱さを克服し、病理と心理的な発達の視点を総合して、治療的介入の視点に立った、より確かな精神病理の理解について学んでいく。

内容：テキストおよびサブテキストを事前に読み、それに基づいて理論講義に積極的に参加し、ディスカッションを行い、理論概念の理解を確かなものにする。

1. 精神分析的精神病理学の包括的な体系を理解し、PAS 理論による再構成を踏まえて、臨床的有用性を学んでいく
2. 神経症、境界例、精神病それぞれの基本病理を力動的視点から学ぶ
3. 各種病理の発生機序としての発達の固着と退行について理解を深める

テキスト：小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法―人は変わる―』 PAS 心理教育研究所出版部.

サブテキストとして、能幸夫編『精神分析的精神病理』を配布する。

受講資格：本科以上のプロフェッショナル・スクール在籍生。その他聴講生として、心理療法、カウンセリング等の臨床歴 3 年以上の公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者。

日程：月曜日 19：00～21：00 全 8 回

2027/2/22, 3/8, 3/15, 3/29, 4/5, 4/12, 4/19, 4/26

料金：74,400 円（税込）

定員：本科生を除き 4 名

科目名：260-4 力動的アセスメント

講師：能 幸夫

目標：力動的アセスメントは、精神科医による診断とは目的が異なる。精神医学診断の目的は病気が否かと、病気の種類の特定化にある。心理療法におけるアセスメントは、心理療法の目的を達成するために当事者の持つ能力を評価することが目的で、人格機能の能力を同定する力動診断につないでいく。この力動的アセスメントを実践体験的に学び、基本的な手続きを身につけることを目標とする。

内容：各自が持ち寄った事例に基づき、その力動的アセスメントを、ディスカッションを通じて
同定していく。その際に、以下の内容に関わる視点からアセスメントを明らかにしていく。

1. PAS-PDSE：PAS-心理力動状態査定を理解
2. セラゲノーシス
3. クライアントの人格構造機能水準のアセスメント
4. パーソナリティスタイルのアセスメント
5. 発達課題のアセスメント
6. 葛藤に関わる防衛と適応機制のアセスメント

テキスト：

小谷英文 (2018). 『精神分析的システムズ心理療法―人は変われる―』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2022). 『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

受講資格：本科以上のプロフェッショナル・スクール在籍生。その他聴講生として公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者。

日程：第1月曜日 19：00～21：00 全10回

6/1, 7/6, 8/3, 9/7, 10/5, 11/2, 12/7, 2027/1/4, 2/1, 3/1

料金：93,000 円（税込）

定員：本科生を除き 4 名

科目名：260-5 フロイト文献講読講座

講師：能 幸夫

目標：フロイト文献講読講座XI期は、昨年に引き続き、フロイトの技法論を読み込んでいく。今年度は、フロイトの理論展開の第3位相：構造論の時期に書かれた技法に関連する論文を読む。論文の一部に技法論があるものも論文全体を読み通す。

内容：あらかじめ配布された文献を事前に読み、面白いと思ったところを3か所用意する。仲間と積極的にディスカッションし、文献の理解を深める。

1. 「快原理の彼岸」；Ⅲ節が技法論
2. 「夢解釈の理論と実際についての見解」
3. 「素人分析の問題」；Ⅴ節が技法論
4. 「続・精神分析入門講義」；第三十四講 最終部分が技法論
5. 「終わりのある分析と終わりのない分析」
6. 「分析における構築」
7. 「精神分析概説」；第Ⅱ部 第6章が技法論
8. 全体のまとめ

受講資格：本科以上のプロフェッショナル・スクール在籍生。その他聴講生として公認心理師、臨床心理士、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者、及び関心のある大学院生。

日程：第3月曜日 19：00～21：00 全8回

5/18, 6/15, 8/17, 10/19, 11/16, 12/21, 2027/1/18, 2/15

料金：74,400 円（税込）

定員：本科生を除き 4 名

特別科目：プロスクールおよび心理相談講座の必修科目

科目名：260-6 事例演習

講師：花井 俊紀

目標：ケースフォーミュレーションを明示した事例報告、さらには事例研究ができる能力を身につけることが目標である。1 年間で最低一本は事例報告を完成し、学会発表を目指す。

内容：実践事例の中から報告をする事例を一つ選び、1 年間、事例報告の作成に取り組む。その過程で、ケースフォーミュレーションおよび面接技術の向上を目指す。

事例概要・初回面接記録・ベースラインアセスメント・ベースラインケースフォーミュレーション・面接経過記録・ケースフォーミュレーション・分析と考察

テキスト：小谷英文（2022）.『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』PAS 心理教育研究所出版部.

受講資格：心理相談講座心理療法コースの受講生

日程：第 4 月曜日 19:00-21:00 全 10 回

5/25, 6/22, 7/27, 9/28, 10/26, 11/30, 2027/1/25, 2/22, 3/29, 4/26

定員：10 名

科目名：260-7 カウンセリングゼミ

講師：花井 俊紀

目標：心理カウンセリングを実践するために必要な心理学理論と、実践態度、面接技術を、演習を通して体験的に学ぶことを目的としたクラスである。

クラス目標：[キーワード] 心理学的心性、Genuineness、SOR サイクル、PEA 紐過程、臨床的態度と PAS10 ルール、フィードバックと DER ソフト、面接の始め方、初回面接の目的と構造

内容：

1. カウンセリンググループ（40 分）参加によって臨床的態度としての心理学的心性と Genuineness を磨く
2. 心理面接の始め方
3. 基本面接としての DER 技法

テキスト：

小谷英文（1993）.『ガイダンスとカウンセリング』北樹出版.

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』PAS 心理教育研究所出版部.

受講資格：心理相談講座 1 年次・2 年次、カウンセリングコース受講生

日程：第1月曜日 19:00-21:00 全10回

6/1, 7/6, 8/3, 9/7, 10/5, 11/2, 12/7, 2027/2/1, 3/1, 4/5

定員：20名

科目名：260-8 心理療法ゼミ

講師：中村 有希

目標：心理療法コースの各クラスの学びが心理療法の実践とどう結びつき、展開されているかを確認し、理論-技法-実践を一体化し、専門性の根を張ることを追求する。

内容：自験例のアセスメントとケースフォーミュレーションをもとに、上記目標を追求するスーパービジョンを受け、以下の課題演習を合同で徹底して行う。心理療法を始めるにあたっての臨床ノート作成を1年毎に課す。

- 1) 心理療法実践における臨床課題の明確化
- 2) 精神分析的な心理療法のケースフォーミュレーションの実践
- 3) 心理療法の基礎技法の実践と練磨

受講資格：心理相談講座心理療法コース受講生

日程：第1月曜日 19:00-20:45 全10回

6/1, 7/6, 8/3, 9/7, 10/5, 11/2, 12/7, 2027/1/4, 2/1, 3/1

定員：10名

基礎科目

科目名：261-1 PAS 不安力動原論

講師：中村 有希

目標：「不安」をキーワードに、心理力動（psychodynamics）について一から学びたい人のための講座である。現代の多くの臨床処方「不安（anxiety）」を遠ざけている。不安を正面から取り上げ、治療課題としたのがフロイトであった。精神分析が医療の表舞台から退いた今日、実際には心理療法やカウンセリング、その他、全ての心理相談で対峙する表玄関ともいえる不安を理解する術が失われている。フロイトの心の理解を基軸とするPAS理論においては、不安は最も重要な変数と見なされている。この不安の力動を理解し、心理力動の基礎を学ぶことが本コースの目標である。

内容：

1. 力動論基礎：個人内の欲動エネルギー展開理論
2. フロイトによる不安発生の力学
3. PASによる不安の力動：PEA 紐過程理論
4. 不安と自我発達の原理：ストレス症候発達理論
5. 驚愕反応：危機とトラウマ
6. 不安と人格構造（病態水準）

7. 現実不安と神経症不安

8. 不安解消アルゴリズム

テキスト：小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法―人は変わる―』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：現任の公認心理師、臨床心理士、精神科医、看護師、CNS、心理職を目指す大学院生

日程：第3水曜日 19:00-20:45 全10回

5/20, 6/17, 7/15, 9/16, 10/21, 11/18, 12/16, 2027/1/20, 2/17, 3/17

料金：93,000 円（税込）

定員：15 名

科目名：261-2 ガイダンスとカウンセリングの基礎*オンライン対応

講師：花井 俊紀

目標：カウンセリングの軸は、人が自らの人生を自らの意志を持って環境との相互作用の中で生きるという適応を助けることにある。心理学に基づいたカウンセリング・ガイダンスを実践するために必要な理論、概念、態度、技術について、学ぶことが本クラスの目的となる。

クラス目標：[キーワード] 適応と不適応、心理学的心性、PEA 紐過程、体験と自己概念の一致、Genuineness、技術と態度、意志決定、自己フィードバック

内容：

- 第1講 適応問題：カウンセリングが対象とする問題
- 第2講 心理学的心性と心の3要素（PEA 紐過程）
- 第3講 一致と不一致、Genuineness：C.R. ロジャース理論の基軸
- 第4講 カウンセリング心理学の定義の変遷：教育と発達
- 第5講 非指示的アプローチと面接技術
- 第6講 クライアント中心からパーソン中心へ：Rogers の6条件
- 第7講 ガイダンスの実際：理論と技術の実践
- 第8-10講 現代カウンセリングの理論と面接法：DER ソフトと DER 技法

テキスト：

小谷英文（1993）.『ガイダンスとカウンセリング』 北樹出版.

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法―人は変わる―』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：①公認心理師、臨床心理士、医師、看護師、教師、精神保健福祉士、社会福祉士、およびそれらの資格候補生、大学院生、②上記資格を持たないが、上記テキストを読み、理解を深めたい人。

日程：第3月曜日 19:00-21:00 全10回

5/18, 6/15, 8/17, 10/19, 11/16, 12/21, 2027/1/18, 2/15, 3/15, 4/19

料金：93,000 円（税込）

定員：15 名

科目名：261-3 心理療法の基礎*オンライン対応

講師：中村 有希

目標：心理療法が科学的な治療技法としてどのように確立するに至ったのかを臨床心理学の系譜を辿りながら学ぶ。ヒステリー研究を通じて解明されたフロイトによる心の構造と機能の理解、カウンセリングと心理療法の相違、現在における心理療法の最先端について、事例を交えた講義を展開する。遠隔からのオンライン受講が可能。これから「心理療法」を習得したい専門家向けの基礎講座である。

内容：

1. カウンセリングと心理療法
2. 心理療法はどのようにして生まれたのか？：フロイト以前
3. ヒステリーの治療原理とその歴史：フロイト以後
4. 人格機能と人格構造（局所論・構造論）
5. 患者になる・クライアントになる：人間性回復運動
6. 個人療法と集団精神療法：心理療法黄金時代
7. 病態水準（精神病・人格障害・神経症）
8. パーソナリティスタイル理論
9. 人格発達理論（二人関係発達）
10. 現代の心理療法：人格変化の理論

テキスト：

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所 出版部.

ラルフ・R・グリーンソン（著）松木邦裕・清野百合・石野泉（訳）(2024).『精神分析の技法と実践』 金剛出版.

対象：現任の公認心理師、臨床心理士、精神科医、看護師、心理職を目指す大学院生

日程：第1水曜日 19:00-20:45 全10回

6/3, 7/1, 8/5, 9/2, 10/7, 11/4, 12/2, 2027/1/6, 2/3, 3/3

料金：93,000 円（税込）

定員：15 名

科目名：261-4 アセスメントとケースフォーミュレーションの基礎

講師：花井 俊紀

目標：本クラスの目的は、事例理解をするために必要な面接を通じたアセスメントの基礎を学び、ケースフォーミュレーションの汎用フォーマット 2W1H を書けるようになることにある。

クラス目標は以下のキーワードについての理解と実践にある。

[キーワード] 心理学的心性、SOR サイクル、PEA 紐過程、Pinney, E.L.のストレス症候発達図式、ケースフォーミュレーション、2W1H、事例性

内容：

- 第1講 S-O-R サイクルによる心の理解
- 第2講 PEA 紐過程による心的体験の描き：心の3要素
- 第3講 演習：事例を PEA で描く

- 第4講 問題は何か？：外的事実と心的事実（体験事実）
- 第5講 「記述」の面接技術
- 第6講 事例の外的事実の問題を整理する
- 第7講 事例の体験事実を整理する
- 第8講 問題はなぜ起きているのか？①：PEA 紐過程を描く
- 第9講 問題はなぜ起きているのか？②：ストレス症候発達図式で説明する
- 第10講 問題はどのように改善可能か？

テキスト：

小谷英文（1993）.『ガイダンスとカウンセリング』 北樹出版.

小谷英文（2022）.『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：公認心理師、臨床心理士、医師、看護師、教師、精神保健福祉士、社会福祉士、およびそれらの資格候補生、大学院生

日程：（原則）第2月曜日 19:00-21:00 全10回

5/11, 6/8, 6/29, 7/13, 9/14, 11/9, 12/14, 2027/2/8, 3/8, 4/12

料金：93,000 円（税込）

定員：15 名

科目名：261-5 心理臨床の基礎訓練：応答構成法

講師：橋本 麻耶

目標：心理職として仕事をする上での理論および技術は、一臨床家としての臨床的態度の上によって立つものである。「応答構成法」は、クライアントと出会うための基本である臨床的態度を磨く訓練法である。初心からベテランまでも、臨床家としての自己への気づきは絶えずあるものである。気づき、享受し、クライアントとの関係に活かすことのできるよう、それぞれの歩みを仲間の中で展開していけることを目指す。

内容：「応答構成訓練法」を実践する中で下記を体験、体得すること。専門家としての言語化のプロセスを繰り返し訓練していく。

1. 臨床的態度とは
2. 「応答構成」の各セル（即時的応答、内容、FPT、FPC、応答構成、冒険応答）
3. 「応答構成」のプロセス
4. プレゼンス：「今ここで」と対象性
5. 臨床家としての自己同一性

テキスト：適宜配布する。

対象：臨床心理士、公認心理師、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、精神看護師、教師、保育士、児童相談員、産業カウンセラー等。心理職および対人援助職を目指す大学院生も可。

日程：（原則）第2木曜日 18:45～20:30 全10回

5/14, 6/11, 7/9, 7/30, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 2027/1/14, 3/11

料金：93,000 円（税込）

定員：7 名

科目名： 261-6 オンラインPAS道場*オンラインのみ

講師：小谷 英文

目標：精神分析的システムズ心理療法（PAS カウンセリング／心理療法／セルフケア・セラピー）の技術錬磨を進め、技法を身体化することを目標とする。

内容：実践演習

自験例のケースフォーミュレーションをベースに、介入ターゲットとなる独立変数と治療目標となる従属変数の軸を見出し、鍵展開技法の同定による治療展開戦略と治療者の課題を明確にする。特定技法展開を明瞭にし、運用技法の錬磨を行う。

1. ケースフォーミュレーションの呈示
2. 特徴が現れているインシデント過程（逐語数行）の呈示
3. ディスカッション
4. スーパーヴィジョン

*原則、一回2例で行う。

テキスト：

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2022）.『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2023）.『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：臨床心理士、精神科医、精神看護 CNS、教師

受講資格：カウンセリング／心理療法の実践に携わり、自験例のあること。

日程：第1月曜日 18:45-20:30 全10回

6/1, 7/6, 8/3, 9/7, 10/5, 11/2, 12/7, 2027/1/4, 2/1, 3/1

料金：93,000 円（税込）

定員：9 名

科目名：261-7 オンライン心の相談*オンラインのみ

講師 小谷 英文

目標：さまざまな病気の素になり、ハイパフォーマンスの素にもなる「不安」と「不適応（適応障害）」に関わる心の働きを理解し、どのような相手でも心の相談の口火を開き、相談に乗ることができるようになること。相談を受けながら詰まった場面を展開のチャンスにする力をつけること。

内容：対話とインシデント法による対話練習と指導

どのような精神的不調にも何らかの形の「適応障害」が現れる。その予兆に誰よりも早く気がつくのが本人であり、見過ごすのも本人である。その予兆が「不安」である。その不安は、話し相手にも周囲の人にも移り（感染し）、対応不能が容易に起こり、適応障害、うつ、さらにさまざまな病気やトラブルを引き起こす。

本講座では、カウンセリングやその他の相談活動、親子や大事な人間関係における対話展開に

疑問を感じ、詰まってしまう困った場面に、相互の「適応」の問題とその背後に「不安」が存在することを理解し、そこで具体的にどうできるかを学んでいく。

演習手順：相談場面の最も困ったやり取りの逐語記述を準備

1. 相談行き詰まり場面の記述を場面共有し説明
2. 行き詰まりの打破の対話展開をメンバー相互に検討
3. 「その時どうする」の対応構成の監督演習（スーパーヴィジョン）

参考図書：

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2023）.『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（近刊）.『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：カウンセラー、コンサルタント、精神看護師、メンタルプロ、教師、親

日程：（原則）第2月曜日 18:45-20:30 全10回

5/11, 6/8, 6/29, 7/13, 9/14, 11/9, 12/14, 2027/2/8, 3/8, 4/12

料金：通年参加 45,000 円（税込） 各回参加 5,000 円（税込）

定員：9名

科目名：261-8 オンライン教育・産業臨床スーパーヴィジョンゼミ *オンラインのみ

講師 小谷 英文

目標：教育問題、適応問題、学級経営、教師のメンタルヘルス・教育能力、社員教育・メンタルヘルス、管理者リーダーシップ、新人研修・昇格研修、トップリーダーシップ、トップアスリートの勝負メンタル、それぞれの領域における精神機能、問題対応能力と創造的開発力を磨く介入技術と技法を実践的に高める。

内容：1回2事例（受講者2名）を原則に、新規、および継続事例のスーパーヴィジョンを行う。受講者は自身の事例だけでなく他の受講者の事例からも、介入ポイント、力動分析、必要な技法運用、ケース理解を確かにするケースフォーミュレーションを学び、効果的処方展開の理論と技術を自身が使えるものに磨いていく。

参考図書：

小谷英文（2008）.『ダイナミック・コーチングー個人と組織の変革ー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2022）.『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2023）.『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（近刊）.『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：学生相談カウンセラー、教師、スクールカウンセラー、産業カウンセラー、アスリート・メンタルコーチ、エグゼクティブ・コーチ、家庭裁判所調査官、人材開発コンサルタント

受講資格：各領域の現在進行形の実践事例を有すること。

日程：第3月曜日 18:45-20:30 全10回

5/18, 6/15, 8/17, 10/19, 11/16, 12/21, 2027/1/18, 2/15, 3/15, 4/19

料金：50,000 円（税込）（途中から参加の場合は 5,000 円×参加回数分）

定員：9 名

科目名：261-9 オンライン病院臨床スーパーヴィジョンゼミ^{*オンラインのみ}

講師 小谷 英文

目標：外来臨床、入院臨床における医師による精神療法、心理士による心理療法、集団精神療法、カウンセリング、入院臨床における精神看護介入、リエゾン危機介入、訪問看護における精神看護介入、実践的に有効な分析と展開技法を、自分自身の臨床法として練磨する。

内容：1 回 2 事例（受講者 2 名）を原則に、新規、および継続事例のスーパーヴィジョンを行い、受講者は自身の事例だけでなく他の受講者の事例からも、介入ポイント、力動分析、必要な技法運用、ケース理解を確かにするケースフォーミュレーションを学び、効果的処方展開を図る。

参考図書：

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法―一人は変わる―』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2022）.『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2023）.『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（近刊）.『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：医師、精神看護師、臨床心理士、公認心理師、ソーシャルワーカー

受講資格：病院臨床におけるカウンセリング／心理療法／精神療法／集団精神療法、精神看護、臨床危機介入の実践に携わり、自験例を有すること。

日程：（原則）第 4 月曜日 18:45-20:30 全 10 回

5/25, 6/22, 7/27, 8/31, 9/28, 10/26, 11/30, 2027/1/25, 2/22, 3/29

料金：50,000 円（税込）（途中から参加の場合は 5,000 円×参加回数分）

定員：9 名

科目名：261-10 精神科診断別の心理面接とセルフケアの基礎Ⅱ

講師 能 幸夫

目標：精神科診断別の心理面接とセルフケアの基礎Ⅱでは、精神科診断に限らず、患者/クライエントのアセスメントに役立つパーソナリティスタイル理論の基礎を押さえ、その上で心理面接とセルフケアの組み立ての基礎を学ぶ。対象患者群は、フロイトが精神分析の主要対象とした精神神経症のヒステリーと強迫神経症、そして精神病である。

内容：今年度の年 4 回の精神科診断別のワークショップのテーマは以下の通りである。

1. パーソナリティスタイルの基礎理論
2. 身体症状症・解離症；ヒステリーの理解と心理療法の基礎技法
3. 精神症、特に統合失調症スペクトラム症の理解とそのセルフケア
4. 強迫症；強迫神経症の理解と心理面接の基礎技法

テキスト：

小谷英文 (1993). 『ガイダンスとカウンセリング』 北樹出版.

小谷英文 (編著)・宇佐美しおり (共著) (2018). 『PAS セルフケアセラピー』 PAS 心理教育研究所出版部.

* 講座の資料は当日配布する

対象：公認心理師、臨床心理士、ソーシャルワーカー、精神科医、精神看護師、CNS、スクールカウンセラー、学生相談カウンセラーの現任者

日程：日曜日 9:30-16:30 全4回

5/10, 8/23, 11/15, 2027/1/17

料金：通年参加：61,200 円 (税込) 各回参加：1 回 17,000 円 (税込)

定員：10 名内外

科目名：261-11 心理職・対人援助職アイデンティティ・グループ

講師：髭 香代子

目標：心理職・対人援助職としての自分のアイデンティティを確かめ、ありたい臨床家像を追求すること。

内容：60 分間の集団精神療法×8 セッション (土曜 5 セッション・日曜 3 セッション)

主なルール：心理職・対人援助職としてのアイデンティティを意識してグループに参加すること。今ここでの体験、感覚、気持ち、連想を言葉で率直に表現すること。メンバーの表現をしっかり聞き、それに対する反応も表現すること。内密性を守ること。

対象：臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカーなどの心理職・対人援助職

日程：11 月または 12 月の (土) 10:00-16:45・(日) 10:00-13:30

(日程が決定次第お知らせします)

料金：33,000 円 (税込)

定員：7 名

科目名：261-12 素人のための精神分析療法

講師：小谷 英文

目標：家族、学校、組織、世界情勢に通す筋が失われ、人心の混迷が日常となっている今、人としての軸となる主体を取り戻すには精神分析療法しかない。精神分析療法の基本となる態度、考え方、関わり方、理論運用の基本を学び、クライアントの主体を助ける自分の仕事の一助とする。

内容：

1. 精神分析療法の臨床的態度
2. 精神分析的介入
3. 精神分析療法における分析
4. 精神分析療法の目的

テキスト：小谷英文 (近刊). 『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

参考図書：小谷英文 (2023). 『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：精神分析療法に関心のある素人

受講資格：精神分析療法を自分の臨床に活用する明確な意図を有していれば、経験年数や現在実践している臨床の理論的背景は問わない。これから精神分析療法を学びたい、経験したいという意志を明瞭に持っていること。

日程：第4水曜日 18:45-20:30 全10回

5/27, 6/24, 7/22, 10/28, 11/25, 12/23, 2027/1/27, 2/24, 3/24, 4/28

料金：50,000円（税込）

定員：15名

科目名：261-13 素人のための精神分析療法 集中講座

講師：小谷 英文

目標：心理療法の大元は精神分析療法にある。精神分析療法の基礎は全ての心理療法の展開に繋がる。心が常に動いている力動を捉え、働きかける精神分析療法の基礎技法の体験的習得を目標とし、不安面接法の基盤づくりを学ぶ。

内容：

1. 心理面接空間を作るセラピスト態度形成の技術
2. 心理力動に体験的に応える応答技術の基礎
3. 自我自律性の自我機能を整え発達させる介入技術
4. 力動的面接法の構成

テキスト：

小谷英文（近刊）.『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（1981）.『カウンセラーのための応答構成—訓練プログラム—』 日本精神技術研究所.

*テキストが手に入らないため、必要資料は配布する。

参考図書：

小谷英文（2018）.『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文（2023）.『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：臨床心理士、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、精神看護師、教師、児童相談員、産業カウンセラー、コンサルタント、厚生・人事担当者

日程：7月25日（土）11:00-17:00・26日（日）10:00-16:00

料金：40,000円（税込）

*オンライン割引（オンラインプログラムの通年受講者）：30,000円（税込）

*心理相談講座受講生：20,000円（税込）

定員：18名

専門科目

科目名：262-1 ロールプレイ：面接展開の基本技術

講師：中村 有希

目標：力動的な面接法の基本となる心的エネルギーの捉えを基軸にした面接展開技術をロールプレイ体験によって身につけ、精錬する。

具体的には、3分間を基本単位とするロールプレイ演習を繰り返し行う。自己フィードバックサイクルの促進・活性化を図る「DER技法」を基礎技法とし、1年を通して面接過程に応じた基本技術を身につける。初心者からベテランまで、各自のレベルで面接の基本技術を身につけることができる講座である。

内容：

1. インテーク面接の基本技術
2. プロセス展開の基本技術
3. 中核葛藤分析の基本技術
4. 危機介入面接の基本技術

テキスト：小谷英文（2018）『精神分析的システムズ心理療法―一人は変わる―』 PAS 心理教育研究所出版部。

対象：現任の公認心理師、臨床心理士、精神科医、看護師、心理職を目指す大学院生

日程：第2木曜日（7月のみ第2と第5） 19:00-20:45 全10回

5/14, 6/11, 7/9, 7/30, 9/10, 10/8, 11/12, 12/10, 2027/1/14, 3/11

料金：93,000円（税込）

定員：15名

科目名：262-2 量子力学的面接法

講師：小谷 英文

目標：事後性の力動介入ではなく、過去も現在も未来も重ね合わせてある今この時間空間に、時間を無くすかの如くの準静的過程の力動展開を図る精神分析的システムズ心理療法の量子力学的介入技法を習得することを目的とし、基本型をもとに変化の瞬間の覚知と介入技術の習得を第一目標とする。

内容：演習

面接展開の詰まった場面を取り出すインシデント法により、その時その場で「どうするか」を明確に展開し、クライアントとセラピスト両者のデュアル抵抗を解く演習を重ねる。具体的には、詰将棋の逆展開、すなわち詰められて身動きできなくなった王将を解き放つ介入の練習を重ねる。

- 演習手順
1. ケースフォーミュレーション・インシデント逐語（数行）の呈示
 2. シナリオ・ロールプレイ
 3. 平衡力学と動力学のノーダル・ポイントの同定
 4. 一拍子打ちからの面接展開の検討；基本型による実技演習

*精神分析的システムズ心理療法固有の面接技法の習得はここから始まり、この技法習得の終わ

りのない臨床アート錬磨の過程となる。PAS 心理療法を学ぼうとするのであれば初心者も歓迎。

テキスト：

小谷英文 (2023). 『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2018). 『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2022). 『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：臨床心理士、精神看護 CNS、精神科医、教師

受講資格：メンタルプロフェッショナル（医師、心理士、看護師、メンタルコーチ、エグゼクティブ・コーチ、人事管理者）の実践事例を有していること。

日程：第 4 木曜日 18:45-20:30 全 10 回

5/28, 6/25, 7/23, 9/24, 10/22, 11/26, 2027/1/28, 2/25, 3/25, 4/22

料金：93,000 円（税込）

定員：20 名

科目名： 262-3 心理療法家のための応答構成法

講師：能 幸夫・橋本 麻耶

目標：心理職として面接場面でどのようにクライアントに反応し、応えているのか、自分の特徴をつかむ。また、自分の応答バリエーションを増やし、精練していく。

クライアントの具体的な発言に対して、ワークシートを使いながら、自分とクライアントの「考えと認知」、「気持ちや感情」、「行動」を識別し、自分らしくクライアントに応答できるようになることを目指す。(※このプログラムには事前課題があります)

内容：応答構成とは、架空の事例のある心理療法場面（抜粋）を読み、自分であればどのように応えるか、実際に応答を作ってみるグループワークショップである。

1. 思春期女子と中年期男性の心理療法の 16 の面接場面において、応答をつくる
2. 自分の「考えと認知」「気持ちや感情」「行動（実際の応答）」を振り返り、自分の特徴をつかむ
3. メンバーや講師のコメントや応答を活かし、自分の応答を精練する
4. 最終回には、16 抜粋の応答をマニュアルに沿って分析し、対人援助職の自分としての特徴を総括する

また、心理療法の理論をより実践的に学ぶために、各セッションで作った応答を使ったロールプレイも取り入れる。

対象：臨床心理士および公認心理師の有資格者で、心理職に従事している方。もしくは心理系大学院生。

受講資格：心理療法を実践していること。ただし、大学院生及び現在心理職として心理療法を実践していない方は、事前に相談の上受講可。

日程：日曜日 9:30-17:15 全 6 回

6/7, 8/2, 10/4, 12/13, 2027/2/7, 3/14

料金：通年参加：91,800 円（税込） 各回参加：1 回 17,000 円（税込）*最終回のみの参加は不可

定員：各回 8 名内外

科目名：262-4 不安面接法集中講座

講師：小谷 英文

目標：精神分析療法の機軸、すなわち全ての心理面接、学生相談、カウンセリング及び心理療法において、常にその始まりと展開の基点となる『不安』の力動を理解し面接を組み立てる基本理論、技術、技法を学ぶ。

内容：

1. 不安力動理論の基礎
2. 不安面接法の基本技術
3. 現実不安と神経症不安を分ける技術
4. 現実不安を治めレジリエンスを高め自我機能を上げる面接展開

テキスト：

小谷英文 (2022). 『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2021). 『不安ノート』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (近刊). 『素人のための精神分析療法』 PAS 心理教育研究所出版部.

参考図書：

小谷英文 (2018). 『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2023). 『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：臨床心理士、公認心理師、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、精神看護師、教師、産業カウンセラー、メンタル・トレーナー

受講資格：カウンセリング／心理療法／精神療法／精神看護／教育相談／スポーツ・コーチング／エグゼクティブ・コンサルテーションの実践に携わり自験例（自身が担当している事例）を有すること。自験例の2W 1H ケースフォーミュレーション記述し持参すること。

日程：2027 年 3 月 6 日（土）11:00-17:00・7 日（日）10:00-16:00

料金：40,000 円（税込）

* オンライン割引（オンラインプログラムの通年受講者）：30,000 円（税込）

* 心理相談講座受講生：20,000 円（税込）

定員：15 名

科目名：262-5 P A S 面接技法集中講座

講師：小谷 英文

目標：今現在の PAS 面接法技法習熟度を自己確認し、さらに技法能力を高める。

内容：講義と演習

参加者各自のケースフォーミュレーションに現れる課題をもとに、PAS 力動面接法、応答構成面接法を基礎に、DER 技法、メンタライジング、ロールテイキング、セラグノーシス、構成ー再構成面接法の基礎技法から量子力学面接法への展開訓練を行う。

* 事前課題：自身の臨床課題を見出せる事例のケースフォーミュレーションを用意して参加す

ること。

テキスト：

小谷英文 (2025). 『PAS 心理療法技法要諦』 PAS 心理教育研究所出版部. (非公刊)

小谷英文 (2018). 『精神分析的システムズ心理療法一人は変わるー』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2022). 『ケース・フォーミュレーション：困難患者の臨床と研究の基軸』 PAS 心理教育研究所出版部.

小谷英文 (2023). 『そのときどうする』 PAS 心理教育研究所出版部.

対象：臨床心理士、精神看護 CNS、精神科医、教師

受講資格：PAS 技法を用いて、臨床実践及び力動的な精神療法による対象者の変化を追っている臨床家

日程：日曜日 10:00-16:30 全4回

5/24, 10/25, 2027/2/14, 4/11

料金：各回 22,000 円 (税込)

定員：10 名

4. スーパーヴィジョン

心理臨床に関わる理論は高度に抽象化されており、理論と技法とのつながりを実践的につかむことは容易ではありません。理論・技法を学んでも、それらの理論が現実場面でどのように現れるのか、学んだ技法を実践の中でどう現実化していくのかを知らなければ、学んだ理論・技法を使うことはできません。当センターのスーパーヴィジョンでは、理論・技法を実践に落とし込んで作法と技術・態度を、専門家として厳しく追求していくための機会を提供します。スーパーヴィジョンには、個人で受ける個人スーパーヴィジョンと、専門家が集まって共に受けるグループ・スーパーヴィジョンがあります。当センターではグループ・スーパーヴィジョンも受け付けております。

当研究所では、以下に関わるスーパーヴィジョンを受け付けております。

- ・ カウンセリング
- ・ 心理療法
- ・ 集団精神療法
- ・ プレイセラピー
- ・ アセスメント
- ・ 学級経営
- ・ 災害支援
- ・ ワークショップ
- ・ コンサルテーション

お申込みはお電話、もしくはホームページの「スーパーヴィジョン」のページから申込フォームをお送りください。

【個人スーパーヴィジョン】

- 対象：臨床心理士、公認心理師、教師、看護師、医師、ソーシャルワーカー、精神保健福祉士など対人援助職に携わる方。初心者からベテランまで経験年数は問いません。
- 料金：45分 11,500円～（税込） 30分 7,700円～（税込）
＊ 頻度はご相談ください。30分の場合は、月2回以上からお受けします。

【グループ・スーパーヴィジョン】

『対人援助職のためのグループ・スーパーヴィジョン：行き詰まった対話の展開の鍵を掴む』（オンラインのみ）

- スーパーヴァイザー：中村 有希
- 日時：第4土曜日 11:00-12:00 定員：4名（最少開催人数：2名）
- 料金：3,680円/各回
- 対象：対人援助職の方ならどなたでも可。初心者大歓迎。医師、看護師、保健師、保育士、ソーシャルワーカー、教師等々

『精神科臨床・病院臨床 グループ・スーパーヴィジョン』（オンラインのみ）

- スーパーヴァイザー：能 幸夫
- 日時：第2・第4木曜日 19:00-19:50 定員：5名（最少開催人数：3名）
- 料金：3,680円/各回
- 対象：臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士

5. 教育分析

1978年、私は著名なH. Greenbaum先生に教育分析（training analysis）を受けたいとお願いしました。先生の応えは、「教育分析とは何ですか？ 私はアナリストやセラピストの分析・心理療法はやっていますが、それでは不都合なのですか？」でした。ニューヨーク大学ベルビュー病院での、いきなりの分析体験でした。

当研究所の個人心理療法・集団精神療法による教育分析は、心理療法家・カウンセラーの成熟性を目指す心理療法です。

PAS心理教育研究所 理事長 小谷 英文

当センターの教育分析には、個人で受ける個人教育分析と、専門家が集まって共に受ける集団精神療法やアイデンティティ・グループがあります。

（1）イントロダクトリー教育分析

教育分析を体験してみたい方向けの5回パックプログラムです。

料金・時間：初回面接＋教育分析5回のパック

初回面接（45分）11,500円（税込）～（担当セラピストによる）

その後、週1回（45分）11,500円（税込）～（担当セラピストによる）

(2) 個人教育分析・集団教育分析

○個人教育分析

対象：臨床心理士および公認心理師有資格者、もしくは受験資格取得者。

その他、対人援助専門職の方。

料金：初回面接（90分）17,000円（税込）

その後は週1回（45分）11,500円（税込）～（担当セラピストによる）

○集団教育分析

Dynamic Group Psychotherapy Authenticity（正統精神分析的集団精神療法）

目標：正統 Dynamic Group Psychotherapy とは、重度境界例治療に唯一有効であった正統精神分析的集団精神療法の完成版であり、病者、健常者を問わず人として自己の本質を追求する心理療法手法として体系化されたものである。本物の自分とは何かを徹底的に追求する集団精神療法の体験によって、自分自身の創造性を発見し、専門性やこの世に唯一無二の自己存在を実感することを目的とし、日々是好日の自分を体験することを目標とする。

内容：1. 小講義 各クール初回

- 1) 世界への適応と自己への適応
- 2) 適応問題の同定
- 3) コンプレックスの同定

2. Dynamic Group Psychotherapy 体験

受講資格：事前面接により、自己の本質を追求する目的を理解し、参加動機を明瞭に説明できることが確認できた応募者。人生のプロを目指す者。

日程：月3回 水曜日 年3クール 19:00-20:30

第1クール：5/13, 5/20, 6/3, 6/10, 6/17, 7/1, 7/8, 7/15, 7/29, 8/5

第2クール：9/2, 9/9, 9/16, 10/7, 10/14, 10/21, 11/4, 11/11, 11/18, 12/2

第3クール：12/9, 12/16, 2027/1/6, 1/13, 1/20, 2/3, 2/10, 2/17, 3/3, 3/10

料金：全3クールパック：132,000円（税込） 各クール：49,500円（税込）

定員：12名

セラピスト：小谷英文

○集団教育分析

対象：臨床経験10年以上の男女

日程：第1・3木曜日 19:00-19:50

料金：16,500円/月

定員：5名

セラピスト：小谷英文

お申込みはお電話、もしくはホームページの「教育分析」のページから申込フォームをお送りください。